

昭和時代(昭和元年から昭和 30 年まで)

年号	西暦	主な出来事
昭和元年	1926年	沢乙巡査駐在所廃止
昭和 2年	1927年	役場に電話架設
昭和 5年	1930年	春日産業組合設立
昭和 7年	1932年	菅谷産業組合設立、利府村産業組合設立
昭和 10年	1935年	青年学校開設
昭和 22年	1947年	公職選挙法施行。市町村長、議員選挙が行われる。
昭和 24年	1948年	菅谷巡査駐在所設置
昭和 25年	1950年	高等女子技芸学院開設
昭和 27年	1952年	利府村立公民館建設

昭和時代(昭和 31 年から昭和 50 年まで)

年号	西暦	主な出来事
昭和 34年	1959年	利府中学校を森郷字古戸に新築
昭和 35年	1960年	チリ地震津波発生
昭和 37年	1962年	東北本線山線「利府～松島間」廃線
昭和 40年	1965年	新役場庁舎完成
昭和 41年	1965年	多賀城町、七ヶ浜町、利府村で衛生組合設立
		利府村商工会設立
昭和 42年	1967年	10月1日 町制施行 利府町となる。(人口 7,879人)
昭和 43年	1968年	明治100年を記念し、旧役場庁舎前に時計塔建立
昭和 44年	1969年	宮城県県民の森開園
昭和 45年	1970年	塩釜地区消防事務組合設立(塩竈市、多賀城町、松島町、七ヶ浜町、利府町)
		利府町全域が仙塩広域都市計画区域に編入
昭和 46年	1971年	利府小学校赤沼分校を本校に統合
		学校給食センター、栄養指導センター完成、小中学校の完全給食開始
		塩釜消防署利府出張所が旧役場庁舎前に開所
昭和 47年	1972年	町内の電話が自動ダイヤル式に変更
昭和 48年	1973年	加瀬沼、県民の森の各周辺地区が緑地環境保全地域に指定
昭和 49年	1974年	利府バイパス開通(現 県道仙台松島線)
昭和 50年	1975年	町章・町木(樫の木)・町花(梨の花)を制定

昭和時代(昭和 51 年から昭和 63 年まで)

年号	西暦	主な出来事
昭和 51 年	1976 年	利府町の人口が1万人を突破
		館町営グラウンド完成
昭和 52 年	1977 年	利府小学校菅谷分校閉校
		利府第二小学校開校
		町内の水道給水率約 100%達成
昭和 53 年	1978 年	6 月 12 日宮城県沖地震発生
昭和 54 年	1979 年	町道在加瀬線河原地下道開通
昭和 55 年	1980 年	ニューカレドニア・リフー島使節団来町、姉妹都市調印
		新浄水場(森郷名古屋地内)完成
昭和 56 年	1981 年	東北新幹線仙台総合車両基地(現仙台総合車両センター)の完成
昭和 57 年	1982 年	新利府駅完成
		浜田保育所開所
		利府第三小学校開校
		東北新幹線開業
昭和 58 年	1983 年	4 月 28 日林野火災発生(森林 670ha、民家 6 戸が全半焼)
		上水道拡張工事完了により、町内全域が自己水源となる。
昭和 59 年	1984 年	宮城県利府高等学校開校
		利府バイパス(現 県道仙台松島線)全線四車線開通
		利府町総合体育館開館
昭和 60 年	1985 年	利府町分庁舎保健課分室設置
昭和 61 年	1986 年	住民基本台帳事務処理を電算化
		8・5豪雨災害による被害が発生
		県内初の印鑑登録事務処理を電算化
		利府駅舎落成
		松島海岸インターチェンジ供用開始
昭和 62 年	1987 年	利府町コミュニティセンターの開館
		社会福祉法人利府町社会福祉協議会発足
		町民憲章・老人憲章を制定
昭和 63 年	1988 年	塩釜地区消防事務組合塩釜消防署利府分署の開署
		町のマスコットマークを「未来(ミラクル)ボーイ」に決定